

八王子 くらしのレポート

八王子市消費生活啓発推進委員会レポート

(令和4年)

2022

12月

特集

講演会 SDGsを日常生活に取り込んでみよう！

11月25日（金）、東京都消費者月間実行委員会との共催により、クリエイトホール視聴覚室を「くらしフェスタ東京2022八王子会場」として、SDGsの講師でもありマジシャンでもあるマリカ先生とアシスタントのセージさんを迎えて、講演会をZoomでのオンライン配信と併せて開催しました。当日は、オンライン視聴者と来場者の合計で59名の参加がありました。また、同時にフードドライブを実施し、202点、45kgと多くの善意を受け、ご持参いただいた食品は、地域の一般社団法人フードバンク八王子に寄付をしました。

■SDGsの基本を押さえておこう

SDGsは英語で Sustainable Development Goalsといい、頭文字のS・D・Gと最後の小文字のsをとってエス・ディー・ジーズといいます。日本語に訳すと、「持続可能な開発目標」ということになります。世界中のいろいろな国や地域の人たちみんなが協力してよりよい世界を、未来のために作っていきましょうということで、このSDGsは、「誰一人取り残さない」ということが決められています。期限は2030年で、目標は17項目あります。右の写真は、国連で掲げられているSDGsの表です。1から17まで数字がふってあり、数字の横に詳しい目標が書いてあります。また、イラストを見るとわかりやすく、大体何のこと正在語っているのかがわかります。そして、2021年に日本が達成できていないSDGsの目標が5つもあるとのことです。それは

- 5番「ジェンダー平等を実現しよう」
- 13番「気候変動に具体的な対策を」
- 14番「海の豊かさを守ろう」
- 15番「陸の豊さも守ろう」
- 17番「パートナーシップで目標を達成しよう」

です。

自分の利益だけを追求するのではなくて、これからは、そこに関わっている労働者のことなどを含め全体的にとらえていくのがSDGsだということになります。また、企業の立場でSDGsに取り組むということは、その「人や環境を守る姿勢」が企業のイメージアップとなり、生存戦略にもつながるため、頑張って取り組むということになります。



マリカ先生に個々の目標に丁寧なコメントをいただきました

■現状への理解と具体的な目標への取り組みは

1番「貧困をなくそう」

- ・1日に1.9ドル（約250円）で暮らす人が世界で7億人以上いる

5番「ジェンダー平等を実現しよう」

- ・まだまだ職場や家庭でも男女の差が大きい

13番「気候変動に具体的な対策を」

- ・気候変動などによる災害等に対して自助、共助、公助などのレベルに仕分けして対策を講じておくこと

14番「海の豊かさを守ろう」

- ・海のプラスチックごみが問題
- ・繰り返し使えるものや自然に還るものなどを選ぶ

15番「陸の豊かさも守ろう」

- ・多様な動物が減っている
- ・地図データを活用し、効率的に環境を守る

データや写真を紹介し、体験談を加え、クイズまで盛り込んで、さらに会場とオンライン参加の方々を巻き込みながら、わかりやすく解説していただきました。

■私たちができることと、日常生活の中で取り込めるこ

(1) 繰り返し使えるものを持ちましょう！

- ・マイボトル、水筒、エコボトル、マイバッグ、エコバッグ、エコラップなど

(2) 自然に還るものを持つてみよう！

- ・柄が竹でできた歯ブラシ、大麦の茎で作ったストローなど

(3) バルクショップ（量り売りショップ）を利用しよう！

- ・惣菜の量り売り、ワインの量り売りなど

(4) 環境を考えたマークの商品を選ぼう！

- ・FSC認証マーク、MSC認証マークなど

(5) 交通手段を変えてみよう！

- ・車→歩きやバス、電車等の公共交通機関など

(6) ビーチクリーンに参加してみよう！

- ・マイクロプラスチックなどの有害物質の除去など



出所:みんなが見つけた FSC マーク



出所:spaceship earth

■明るい未来に向けた取り組み

明るい未来へ向けての取り組みが行われていることを紹介してくれました。

3番「すべての人に健康と福祉を」

- ・ドローンを使って薬や血液を運ぶ、遠隔地や過疎地などの人を救う

7番「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

- ・ミドリムシが燃料になる（顕微鏡で見るくらい小さく、場所も取らず、光合成で二酸化炭素を吸収）

12番「つくる責任とつかう責任」

- ・環境や燃費の良い次世代自動車といわれる電気自動車やソーラーカーなどを普及させる

13番「気候変動に具体的な対策を」

- ・実際にもう行われていますが、人工衛星で森林を上空から監視し、熱帯雨林の違法伐採等から守る
- ・二酸化炭素をその中に封じ込める方法で製造したコンクリートを利用する

15番「陸の豊かさも守ろう」

- ・多用な動物が減ってきている
- ・自然破壊がどこで進んでいるのかのポイントを押さえた地図を作り、環境の状況を詳しく把握し、それを利用して効率的に自然を守る



マリカ先生とセージさんのテンポの良い掛け合いで、難しいテーマをやさしく解説していただきました

SDGsに関しては重い課題を背負っていますが、その中でもこうした新しい取り組みが育つつあるのを見ると、目標達成に向けて前進していることが理解でき、この歩みを止めないで私たちも出来ることを一つひとつ積み上げていくことが必要と言えます。

マリカ先生から最後に、「SDGsを実践することを紹介させていただきましたが、どんな小さなことでもよいので一つでも取り上げ実施するということがとても大事だと思います。一緒に頑張っていきましょう。」とエールを送っていました。

講演会の後半は、セージ先生のアートバーレーンショーとマリカ先生のSDGsマジックショーでした。クイズで笑い、ショーで驚き、SDGsの深い話とともに満足感いっぱいの講演会を終えました。



マリカ先生のマジックショーの様子

フードドライブにご協力いただいた皆さん
ありがとうございました！

イベント報告

●10/22（土）八王子市生涯学習フェスティバルに出展しました

ミニセミナー、輪投げ、計量ゲーム、ビブリオバトル、ぬり絵などを通して、消費生活センターと消費生活啓発推進委員会のPRを行いました。来場者は53名でした。コロナ禍のイベントでしたが、久しぶりに市民の皆さんのが笑顔を見ることができました。



参加実行委員

●11/3（木）はちおうじ NPO フェスティバル 2022 に出展しました

真新しい東京たま未来メッセの会場に、多くの方が集まりました。消費生活啓発推進委員会としては、会場で「くらしのレポート」、「消費生活ニュース」、「SDGs私たちにできること」などの資料を配布しました。

イベント予告

●2/4（土） 第56回八王子市消費生活フェスティバルを開催します



クリエイトホール5階の会場をすべて使って、午前11時から午後4時の間、20団体のメンバーが皆さんと消費生活について対話できることを楽しみにしています。



写真はイメージです

●3/5（日） 地域デビューパーティー802に出展します

学園都市センターを会場に、来場者の方々と消費生活について対話します。

＜編集後記＞

- ・SDGsという言葉が普通に語られるようになってまいりました。2～3年前はどうだったでしょうか？マスコミや学校や企業の広告までが日本中で取り上げてきたからではないでしょうか。しかし、知っていても、さて日常の行動は？と見返すと、自信がなくなるのは私だけでしょうか？このテーマは自分たちの目に見えないところにもつながっている深く重いテーマです。ぜひ飽きずにこれからも続けてより効果のある活動にしていきましょう。（A）
- ・ウィズコロナということで、講演会も無事開催することができました。マリカ先生とセージさんには深い話のなかに笑いを交えて具体的に示していただき、励みになりました。SDGsの目標2030年達成に向けて、私たちができるることを一步一步進めていきましょう。（k）

編集発行：八王子市消費生活センター・同消費生活啓発推進委員会



〒192-0082 八王子市東町5-6 クリエイトホール 地下1階

☎042-631-5456

FAX: 042-643-0025

八王子市消費生活啓発推進委員会 HP

*くらしのレポートにつきご質問・ご意見がありましたら、どうぞお寄せください。